



こだわりのある運用者達による成長株投資で 日本の新たな成長機会を捉える



ポイント

1. 成長株での銘柄選択で良好な運用実績
2. 独自の運用哲学を持ち、実績を重ねている運用者を採用

1. 成長株での銘柄選択で良好な運用実績

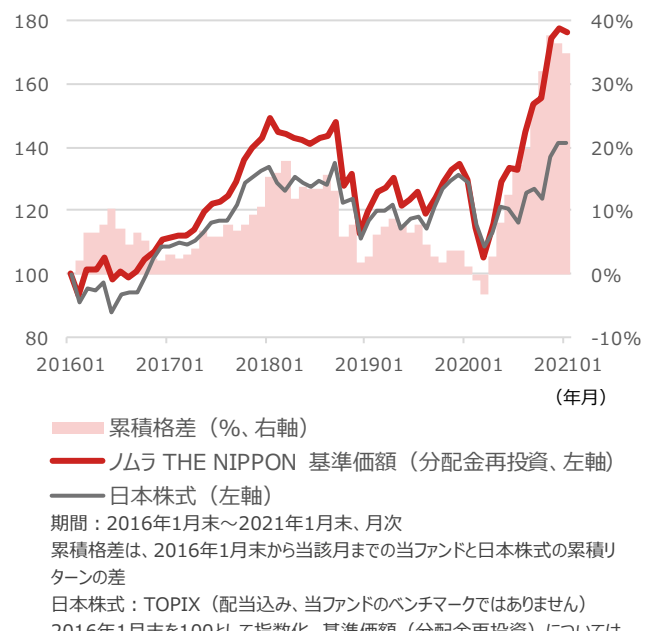
成長株の銘柄選択が奏功

図1はノムラ THE NIPPON（以降、THE NIPPON）の過去5年の運用実績です。2016年前半はイギリスの欧州連合離脱などの影響もあり低迷しましたが、同年後半から世界経済の回復を受け、2018年前半まで株式市場は上昇しました。この期間、THE NIPPONでは主に成長株の銘柄選択が奏功し、参考指数であるTOPIX（東証株価指数）を上回る実績を積み上げていきました。しかし、2018年後半から2020年3月までは、景気が減速し、市場全体が低迷する中、運用実績は低迷しました。

コロナ禍の中、財政による景気下支えとデジタル化を始めとする構造改革が急速に進む期待から、TOPIXは同年3月17日を底に反転しました。それ以降、THE NIPPONで組入れ比率が高い成長株の上昇率はTOPIXを上回るものが多く、THE NIPPONの騰落率はTOPIXを大きく上回りました。

THE NIPPONの2021年1月末までの騰落率をTOPIX及び同種ファンドと比較すると（図2）、過去1年では同種ファンドのなかで2位となり、過去3年、5年でも上位を確保しました。

（図1）過去5年の運用実績



（図2）期間別基準価額（分配金再投資）騰落率と純資産額100億円以上の同種ファンド群内の順位

	1年	3年	5年
ノムラ THE NIPPON	35.8%	18.3%	76.4%
参考指数 TOPIX(配当込み)	10.0%	5.7%	41.5%
順位 (本数)	2位 (55)	12位 (54)	7位 (48)

(注1) 騰落率の計算期間は2021年1月末から過去に遡った期間。
 (注2) 基準価額（分配金再投資）については3ページをご参照ください。
 (注3) 順位はFundmarkの国内株式、一般、フリーに分類され、2021年1月末時点の純資産額が100億円以上のファンド群内での順位
 (出所) Factset、Fundmark及び社内データを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. 独自の運用哲学を持ち、実績を重ねている運用者を採用

THE NIPPONは、5人のファンド・マネージャーが運用するファンドに投資を行なうファンド・オブ・ファンズです。5人とも経験豊富で、独自の運用哲学を持ち、実績を重ねています（表1をご参照ください）。

野村アセットマネジメントの「ノムラ・ザ・セレクト マザーファンド」は福田氏と原田氏が共同で運用を担当しています。福田氏は26年の調査・運用経験を有しています。情報通信や電機などに特化したテーマファンドも担当し、半導体関連銘柄への投資も得意としています。見逃されているがポテンシャルは高い銘柄の発掘を強みとしています。

原田氏は運用経験27年で、一貫してグロース株運用を手掛け、ROE（株主資本利益率）重視の銘柄選定プロセス構築を主導してきました。高ROEの持続・向上が期待できる企業に投資しています。

J.P.モルガン・アセット・マネジメントの中山氏は、運用経験27年で、長期サイクルからの投資テーマを基に広い領域から機動的に収益機会を追求する手法が特徴です。

アセットマネジメントOneの岩谷氏は、運用経験9年で、IT等の活用により非効率な既存ビジネスの改革・革新を狙う成長企業の発掘を強みとしています。

J Flag Investmentの小瀬澤氏は、J.P.モルガン・アセット・マネジメントで実績を残したのち、2009年に同社を設立しています。高い成長により株価10倍（テンバガー）が期待される銘柄への投資にこだわりを持っています。

（表1）ノムラ THE NIPPON が投資する
ファンドの運用者

運用者	独自の運用哲学に基づく得意領域	ファンド名
野村AM 福田泰之 	見逃されているがポテンシャルは高い銘柄	ノムラ・ザ・セレクトマザーファンド
野村AM 原田信太郎 	高ROEが持続・向上する企業	
J.P.モルガンAM 中山大輔 	広い領域から機動的に収益機会を追求	ノムラ JPモルガン日本株マザーファンド
アセマネOne 岩谷渉平 	改革・革新型の成長企業	ノムラ One日本株マザーファンド
J Flag Investment 小瀬澤央 	高成長のテンバガー	ノムラ T&D J Flag日本株マザーファンド

（注1）「独自の運用哲学に基づく得意領域」は各投資ファンドについての説明であり、THE NIPPONの投資方針ではありません。

（注2）野村AMが運用を行なう指定投資信託証券「ノムラ・ザ・セレクト マザーファンド」は福田泰之・原田信太郎が共同で運用を担当しています。

（出所）野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。詳細は各運用会社へご確認ください。

ノムラ THE NIPPON

ファンドの運用状況

基準価額の推移

期間：2013年12月9日（設定日）～2021年2月25日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- わが国の株式を投資対象とする投資信託証券(投資信託および外国投資信託の受益証券(投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。))を主要投資対象とします。
- わが国の株式を投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。
 - ◆ 買い建てによるロング・ポジションだけではなく、売り建てによるショート・ポジションも構築して積極的に収益の獲得を目指すロング・ショート戦略に基づく運用を行なう投資信託証券に投資を行なう場合があります。
- 投資信託証券への投資にあたっては、指定投資信託証券の中から、定性評価、定量評価等を勘案して選択した投資信託証券に投資を行なうことを基本とします。なお、組入投資信託証券については適宜見直しを行ないます。
 - ◆ 各指定投資信託証券のいずれかに投資を行なわない場合があります。
- 指定投資信託証券について

2021年2月25日現在、委託会社が知りうる情報等を基に記載した指定投資信託証券の概要です。

1	ファンド名	ノムラ・ザ・セレクト マザーファンド
	委託会社	野村アセットマネジメント株式会社
	主要投資対象	わが国の株式
2	ファンド名	ノムラーJPモルガン日本株 マザーファンド
	委託会社	野村アセットマネジメント株式会社
	運用の委託先	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
3	ファンド名	ノムラーOne日本株 マザーファンド
	委託会社	野村アセットマネジメント株式会社
	運用の委託先	アセットマネジメントOne株式会社
4	ファンド名	ノムラーT&D J Flag日本株 マザーファンド
	委託会社	野村アセットマネジメント株式会社
	運用の委託先	T&Dアセットマネジメント株式会社※ ※T&Dアセットマネジメント株式会社は投資銘柄の選定、見直し、投資比率の決定にあたって、J Flagインベストメント株式会社からの助言を受けます。
	主要投資対象	わが国の株式

- 指定投資信託証券は、定性評価、定量評価等を勘案して適宜見直しを行ないます。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れる場合や、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。
- 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)からの助言を受けます。
- ファンドは、複数の投資信託証券(ファンド)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
- 原則、毎年6月および12月の12日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 2024年12月12日まで(2013年12月9日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、6月および12月の12日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動ついで投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年2.013%(税抜年1.83%)以内(2021年2月25日現在年1.98%(税抜年1.80%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり量が小さかった場合も同様です。

◆お申込みは

野村証券

商号：野村証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人金融先物取引業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。